

とちぎ夢大地応援団活動報告（平成28年11月5日実施）

佐野市 多田地区「再生農地の刈り払い」

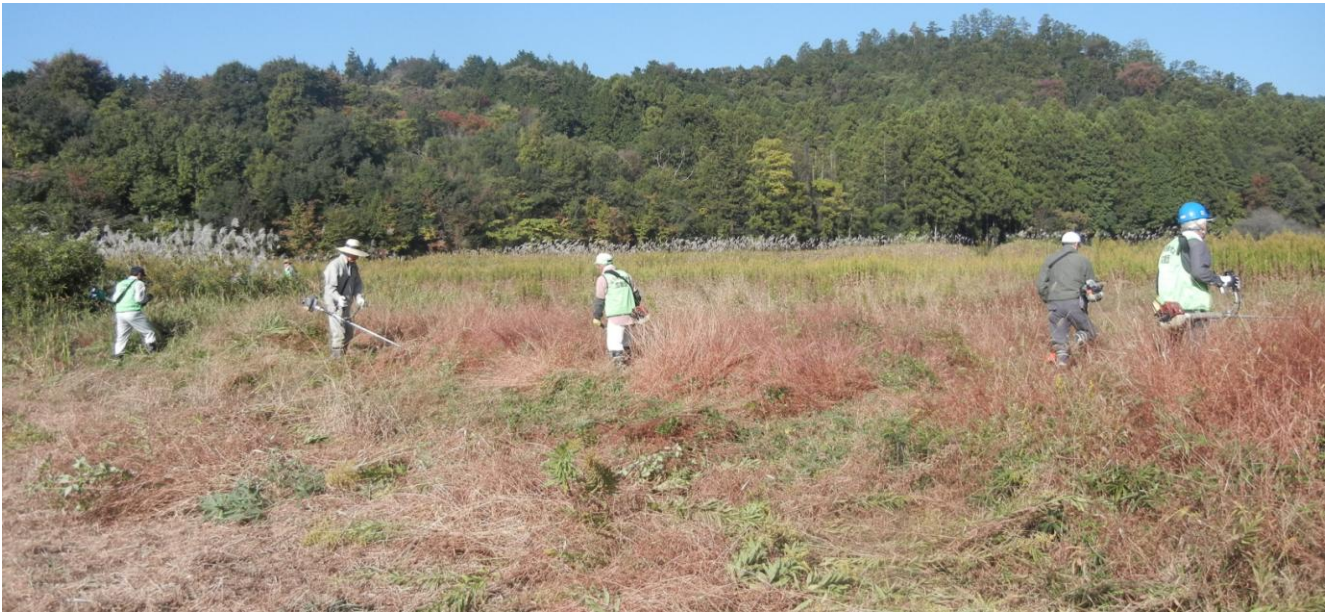
佐野市多田地区の柴田保全会（毛利昭一郎会長）のとちぎ夢大地応援団活動が11月5日、応援団員24名、地元柴田保全会員6名の合計30名が参加して、再生農地の草刈りを行いました。

旧田沼町の国道293号線沿いにある同地区は、4年前から春秋の年2回、柴田保全会員と応援団員が力を合わせて地区内の耕作放棄地の解消に取り組み始め、灌木や雑草が生い茂る約4haの放棄地の農地への再生を図ってきました。今年も5月に36名が参加して1回目の応援団活動を実施し、約3haの草刈りを行いました。

この日もボランティア団体栃木ナルクの会員9名を含む夢大地応援団員と地元の人たちとで約2haの草刈りに汗を流しました。毛利会長は「今年の雑草は生育がよく、地元だけでは手が回らず応援団の手助けは大変ありがたい。草を刈ることでシカの害が減った。再生農地に来年は藍や花ショウブを栽培し、応援団活動の成果を出したい」と交流会の席上で語っていました。



「ケガのないように・・・」開会あいさつを行う毛利会長（右端）



刈払い機や手刈り鎌を使っの草刈り。背丈の倍もある草も。



約 2 時間半できれいに刈り払われました



昼食後の交流会で感想を述べる応援団員の女子大学生（中央で起立している人）